

会 議 録

会 議 の 名 称	朝霞市立朝霞第二中学校 第2回 学校運営協議会	
開 催 日 時	令和8年 7月15日(水) 午後 2時45分から 午後 4時40分まで	
開 催 場 所	朝霞市立朝霞第二中学校 1階 教育相談室	
出 席 者	田原 亮 勝瀬 亮助 藤巻 直也 角谷 昌則 鈴木 重之 小石川 知治 欠席：富重 淳 清水 良樹 比留間 寿昭 宮林 信明 【事務局】蛭原 康平（記録） 岩本 雄剛（司会）	
会 議 内 容	・1学期の学校運営について ・本年度後半の行事予定について ・次回の学校運営協議会の取組について	
会 議 資 料	・次第 ・4月～7月学年だより ・年間行事予定 ・学校運営協議会「熟議」事前アンケート結果報告	
会 議 録 の 作 成 方 針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
		会議録の確認方法 校長・教頭による確認
傍聴者の数	傍聴者 0人	
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会、諸連絡（岩本教頭）

2. 学校長あいさつ

- ・暑い中での来校に謝辞。
- ・現在野球部が鴻巣にて県大会中である。
- ・本日は保護者会と重なっているため、一時退席となる。
- ・今日より鈴木委員が加わり10名での体制となる。

3. 会長あいさつ

- ・鈴木氏の紹介。
- ・来月の熟議に向けて、忌憚のない意見をお願いしたい。
- ・鳴子双葉の大旗の持ち手を募集中である。

4. 任命書交付

- ・新たな委員となる鈴木重之氏へ任命書の手交。

5. 自己紹介

- ・委員及び事務局による自己紹介。

6. 議事

（1）本年度後半の行事予定について

- ・1学期以降の行事関係についての概要説明。（修学旅行・新人戦・土曜公開・合唱コンクール・1年職業体験・私立入試・2年スキー林間・公立入試・卒業証書授与式等）
- ・現在、学校の様子を学校ホームページに掲載をしているが、こまめに更新をしており、今後も続けていく。
- ・合唱コンクールの委員の参観について
→確認をする。
（勝瀬委員）
- ・合唱コンクールの保護者参観がリハのみとなった経緯の確認。

（2）次回の学校運営協議会の取組について

（田原会長）

- ・今回のアンケート結果はほぼ項目を変えていないことから、昨年度との比較が可能となった。その点を分析結果に反映させた。
- ・熟議のテーマを導いていきたい。そのためのアンケートである。
- ・熟議テーマ（素案）として

①本校の強みを生かした学校づくり

②地域とともに子どもを育てる仕組み作り

③二中生の居場所・出番・役割を広げる

④主体的に考え、周囲に配慮して行動できる生徒の育成

⑤二中の日常のよさを学校外へ伝える

- ・ 今日決めたいのは、場所とテーマ。
- ・ 場所は、昨年度は東洋大学。今年度は二中で行うことができればよい。
- ・ 二中ならば図書室だが、部屋の形状上、2テーマ・2チームでの熟議が可能か。
- ・ 理科室はどうか。グループ・全体共有がしやすいのでは。
- ・ 理科室で行うこととする。
- ・ 昨年度は運営委員4名が参加。教職員と学校運営について語ることができる貴重な機会でもあるため、保護者側ももっと参加者を募りたい。
- ・ 時間帯は午後2時から午後4時。
- ・ 16ページに去年のテーマを載せている。

(藤巻委員)

- ・ ⑤のテーマで熟議をしてみたい。保護者と教師の会の今年度の目標・テーマと合致しているため。熟議後に、執行部としてできることは実行に移したい。(平たく言うとイメージアップ戦略)

(勝瀬委員)

- ・ 先生たちはどうだろうか。③と⑤は近い。③は去年にも課題として出たものだが、生徒の外での活躍の場の確保がある。これを受け、11月8日に文化部に光が当たるイベントを企画している。③と⑤とするならば、先生方はどう思われるかは聞いてみたい。

(田原会長)

- ・ 先生方には、テーマをもとに、本音を前半は出してもらい、その中で実現できることは何かを後半に考えていけるとよいのでは。去年先生方が「やりたい」と言っていたことは、実際はどうなっているのか知りたい。

(角谷委員)

- ・ だれに伝えるか。保護者だとするならば、どういうものが「いい学校」なのか、そこに合致するものをアピールしていかないといけないのではないかな。

(田原会長)

- ・ 「いいイメージにしていこう」より、悪いイメージを払拭したい。前半を③、後半を⑤の形だと熟議が深まると思う。

(角谷委員)

- ・ 二中ってこんな顔があるんだ、というもののほうがイメージアップになるだろう。

(勝瀬委員)

- ・ 現在企画している「おやちやい村」は、行政主体でない、学区内での開催であるため、家庭に対するアピールにはつながるだろうと考えている。

(小石川校長)

- ・③と⑤のテーマで進めていくことに意義はないが、学校としてこれがいいなと保護者が通わせたいは、合致するとは限らないとの角谷委員の意見を受け、その前段階にまずここを教師に問うところから始められるとよいのではないかな。教員は「子育て」をしていない世代が多い。保護者との熟議においては、通わせたい学校について、教師が意見を知る機会にもしたい。学校はよく「閉鎖されている」と言われるが、外の意見は入ってきにくい部分がある。ここに課題がある。

(勝瀬委員)

- ・教員としての姿でない部分を求めている保護者もある。必然的に立場での物言いになりがち。垣根を越えての関係から生み出されたものが過去の小学校では展開された部分はあった。(市P連綱引きやバレーなど)
- ・文化祭の概念は中学校にはないか。

(小石川校長)

- ・ないわけではなかったが、働き方改革の中で行事の見直しにより精選されていた部分はある。
- ・保護者からは何人くらい参加できるのか。

(藤巻委員)

- ・確約はできないが、あと2人くらいは来るか。

(勝瀬委員)

- ・先生と接点がある方は来てくれそう。(例えばバレー)

(田原会長)

- ・先生と話せるよい機会ということで、広く声をかけるとよい。

(小石川校長)

- ・場合によっては、体育館で椅子を囲んでという形もとれる。
- ・高校入試や授業スタイルも変わってきている中で、保護者はどんな子供にして卒業させたいかを教師にぶつけてもらってもよい。

(田原会長)

- ・熟議によって、保護者自身もできることを考えてもらえるきっかけとなることを意図したい。

(藤巻委員)

- ・一方通行でなく、双方向のやり取りでないとぶつけられるだけではつらくなる。
- ・使いやすいテーマが良い。

(小石川校長)

- ・通いたい・通わせたい学校を語ろう。
- ・母校という言葉は最近使っていて、大切だと考えている。

(田原会長)

- ・通いたい・通わせたい母校とは何か？を前半のテーマとして、教員・保護者からどんどん出させる。そこから、「そのためにできる一步はなんだろう？」を後

半のテーマとして熟議をしていってはどうか。

(藤巻委員)

- ・「熟議」は難しい印象を持たれがち。本音で語り合うとか垣根を越えて話し合うとかの言葉のほうが、ハードルが下がる。

(田原会長)

- ・「垣根を越えて、本気で語り合う会」とする。

(藤巻委員)

- ・保護者と教師の会では、フォームで募ることとする。

(3) 1学期の学校運営について

生徒の活躍について(7月号より)

- ・県大会出場部、1位上がりも複数ある。
- ・現在野球部が県大会真っ只中。
- ・アメリカ世界選手権に出場中の生徒(ゴルフ)

働き方改革について

- ・4月から法改正。
- ・「月45時間、年360時間を超えない」が求められている。360時間を超えないを12月で割ると月30、これを達成するのは、部活動がある中学校ではかなりハードルが高い。
- ・教員の1週間持ち時数は、多い教員で24時間。補充等で対応が入れば空き時間も減る状況。
- ・学校として手を付けたいのは留守番電話の時刻。運営委員や保護者と教師の会の理解・協力を得ながら進めたい。

生徒指導について

- ・現状の報告。

体育祭について

- ・報告。

7. その他・諸連絡

- ・令和8年8月26日(水)

8. 閉会の言葉(蛭原教頭)